

## インターバンクの声（2014年10月10日）

ドル円相場は、107円台で下げ止まるのだろうか。先週は110円を超えてどこまで上昇するかが焦点であったが、今週は107円台を維持できるのかに焦点が変わっている。ドルの上昇が早過ぎた分、いったん106円台前半まで調整するとの声も強まっているが、今のところなんとか107円台では下げ止まっている。

昨日は米新規失業保険申請件数が、市場予想より良好であっても、上げ幅は限定的であったように、上値の重さは変わらなかった。ドル指数は84.93と、2週間ぶりの低水準、米10年債利回りも2.27%まで低下する場面もみられ、上値の重い展開は続きそうだ。ただ、一方で、106円台では本邦資本筋の買いも控えているとの噂もあり、106円台ではドル買いを待ち構えている参加者も依然として多いようである。連日ボラティリティの高い展開が続いており、簡単には席を外せない日々が続きそうである。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。